

第5回全国省エネミーティングin長野

(旧名称：Forward to 1985 energy life秋の大集会)

長野の先進的な取り組みと、
1985アクションを重ねて、
地域主導のエネルギーのあり方を探ろう。

すべての建築物の新設時にエネルギーの検討を義務付ける制度を始めた長野県。
ユニークかつ先進的な取り組みとして大きな注目を集めています。
また1985アクションは基本的に“地域主義”であり、地域に根ざした
1985地域アドバイザー拠点を中心に家庭の省エネを進めています。
今回の「全国省エネミーティングin長野」ではこの2つの動きを重ねて見ること、
今後ますます求められる“地域主導のエネルギーのあり方”が見えてくると確信します。
地域・家庭のエネルギーに関心のある市民の方、
住宅建築実務者の方はぜひご参加ください！



2015年

11月6日 金曜日

会場 ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)

受付 13:00開始 参加費 無料

定員 300名 9月4日(金)当法人HPにて参加受付開始 定員に達し次第受付終了

プログラム

* 13:30~14:50

『1985アクションのしくみと実践』

(一社)Forward to 1985 energy life 代表理事 野池政宏

* 15:00~15:45

『長野県の環境エネルギー政策のビジョンと取組』

長野県副知事 中島恵理氏

* 15:45~17:00 パネルディスカッション

『地域主導のエネルギーのあり方を探ろう』

[パネリスト]

長野県副知事 中島恵理氏

信州大学工学部教授 高木直樹氏

自然エネルギー信州ネット 小田切奈々子氏

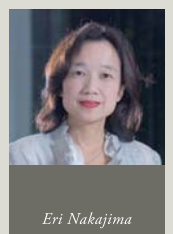
アトリエくら代表 倉島明氏

[コーディネーター]

野池政宏

中島恵理(なかじま へり)

長野県副知事。平成7年環境庁入庁、平成13年より環境省地球環境局地球温暖化対策課係長、平成15年より経済産業省資源エネルギー庁新エネルギー対策課補佐等を経て、平成23年より長野県温暖化対策課長、平成27年より現職。平成13年より長野と東京との二地域居住を始め、長野では、セルフビルドによるエネルギー自給型の暮らしを実践。



Eri Nakajima

野池政宏(のいけ まさひろ)

一般社団法人Forward to 1985 energy life 代表理事。住まいと環境社代表。岡山大学理学部物理学科卒。自立循環型住宅研究会主宰。暮らし向上リフォーム研究会主宰。「野池新聞」発行人。主な既刊書 じっくり派のための家づくりガイド①断熱・省エネ編/②自然住宅編/シックハウスがわかる/省エネ・エコ住宅設計究極マニュアル/本当にすごいエコ住宅をつくる方法



Masahiro Noike

<主催>

(一社)Forward to 1985 energy life

HP:<http://to1985.net/> TEL:072-763-4770

ご参加お申込・イベント最新情報は

1985

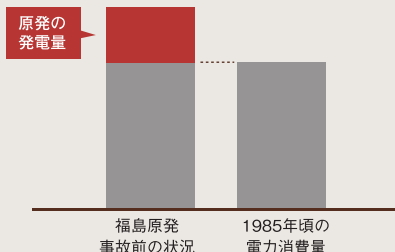
検索

Forward to 1985 energy life が考えている「2011→1985へのシナリオ」

私たちの住む環境は、私たちにしか変えられない。住まい手と住宅をつくるプロと一緒に考え、家庭の省エネから日本を変える。これが“Forward to 1985 energy life”です。

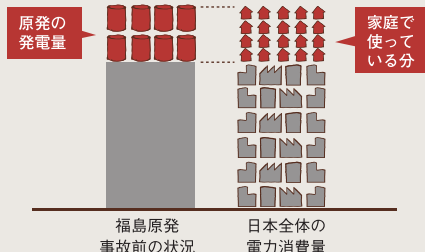
1 原発の発電量(年間)がもしなかったとしても、1985年頃の電力消費量であれば、何とかやっていけます。

日本全体の1年間の電力発電量と消費量

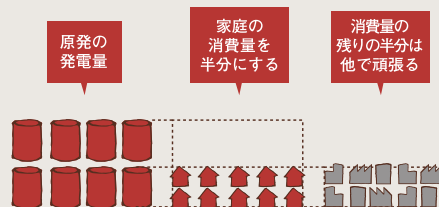


2 そして、原発の発電量は家庭全体の電力消費量とほぼ同じです。つまり、家庭の電力消費量を減らすぶんだけ原発がいらなくなります。

日本全体の1年間の電力発電量と消費量



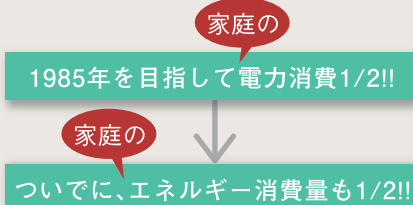
3 家庭の電力消費量をゼロにするのは無理ですが、少し時間をかければ「半分」にすることは十分に可能です。原発分を無くするための残り半分は他の分野に頑張ってもらいます。



4 日本のエネルギーに関わるテーマにおいて、電気のこと(原発のこと)だけが重要ではありません。だから、電力消費量だけではなく、家庭のエネルギー合計(電力・ガス・灯油)も半分にすることを目指します。



5 ①1985年頃の電力消費量になることを目指して、家庭の電力消費量を半分にする。
②そしてついでに家庭のエネルギー消費量も半分にしてしまう。
③これが1985アクションです。



6 この目標を2030年頃に達成させる。我慢ではなく、楽しく、かきこく実行する。

だから
Forward to 1985 energy life
なのです!



一般社団法人 Forward to 1985 energy lifeが行っている事業

<p>大目標</p> <p>2030年頃までに、家庭部門の電力消費量と1次エネルギー消費量をいまの半分にする</p>	<p>大目標を達成させるための目標</p> <p>全国の各家庭の電力消費量と1次エネルギー消費量をいまの半分にする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●暮らし省エネマイスター検定の実施 ●野池学校・リノベ学校の開催 ●環境省 うちエコ診断事業 ●書籍の発行など具体的な省エネ情報の提供 	<p>1985地域アドバイザー拠点の設置と教育</p> <p>(2020年頃までに全国の市区町村に少なくとも1拠点を設ける)</p>	<p><その他の活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ■年1回の省エネミーティングの開催 ※2011年から開催 ■講習会等イベントの開催 ■(社)パッシブデザイン協議会との協働
---	--	--	---	---

1985アクション公式解説本vol.1と省エネミーティングの様子

会場地図



<交通アクセス>

- JRご利用の場合
JR長野駅下車、東口から徒歩約10分
- タクシーご利用の場合
JR長野駅東口から約5分
- バスご利用の場合
JR長野駅善光寺口から川中島バス利用
2番乗り場から日赤経由大塚南行き・工業高校経由犀北団地循環中御所下車(約4分) 会館まで徒歩5分
JR長野駅東口から長電バス利用
1番乗り場から日赤壇田線・保科温泉文化会館入り口下車(約3分) 会館まで徒歩5分

<後援>

長野県、(一社)パッシブデザイン協議会、自立循環型住宅研究会、NPO法人WOOD AC、信濃毎日新聞社、新建新聞社